

ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞の概要

アジアや大平洋のいたるところで、文化遺産、遺跡は脅威にさらされています。遺産建築や遺跡の多くは私有であり、これらの壊れやすい遺跡を守るためには個々の施設や機関の役割が重要です。

ユネスコではこの事実を考慮し、現在さらに次世代への利益のためにアジア太平洋の文化遺産を保護するよう、民間機関の参加と官民との連携を奨励しています。

2000年に設立された文化遺産保全のためのユネスコアジア太平洋賞は、民間機関や官民の先導によりこの地域の遺産建築や遺跡の保全、修復に成功した功績を評価しています。

さらに2005年、ユネスコはイノベーション推進審査を立ち上げました。この審査では歴史的背景に見事に融合した建築デザインを掲げ、新しく建てられた建造物を評価しています。

2000年以来、これらの賞に24カ国、556組が参加しています。計160プロジェクトが保全活動を称えられ受賞し、8プロジェクトがイノベーション推進審査賞を受賞しています。

受賞は私邸から複合宮殿にいたるまで多岐にわたります。年来、これらのプロジェクトはアジア太平洋地域での保全活動の勢い、保全レベルの向上を表しています。

これらの賞はアジア太平洋地域の文化遺産保全について技術的、社会的水準を規定しています。受賞プロジェクトはこの地域全域の文化遺産保全において、民間団体や機関に保全促進の媒介、インスピレーションを与えています。